

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

本大会は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練 習

トラックの外側を使用する。状況に応じてバックストレート等を開放するときがある。ただし、跳躍・投てきは係員の指示により実施する。

3. 競 技 場

スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳およびやり投は12mm以内とする。

4. 招 集

- ①チェック方式とし、招集所で本人が行なうものとする。
- ②完了時刻に遅れた場合は、棄権とみなす。
- ③トラック、フィールド内への入場は、係員の指示に従うこと。
- ④招集時刻は下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	40 分前	20 分前
※中学男女 100m 予選の 11 組以降	20 分前	0 分前
フィールド競技 (除棒高跳)	50 分前	30 分前
棒高跳	80 分前	60 分前
リレー競技	オーダー提出：競技開始 80 分前まで	

5. ナンバーカード

- ①2枚を胸背部にしっかりとつけること。ただし、走高跳・棒高跳についてはいずれか1枚でもよい。
- ②トラック種目では腰ナンバーカードを右腰やや後方につけること（競技終了後フィニッシュ地点で回収する）。
- ③中学男子 3000m、一般男子 5000m、一般女子 3000mは、特別ナンバーカードを使用するので、招集所で受け取り、フィニッシュ後に必ず返却すること。

6. トラック競技

- ①トラック競技の準決勝・決勝の番組編成は、本部で抽選し掲示する。
- ②400mまでの種目およびリレー競技において、同タイム者（チーム）については判定写真を細部（電気計時1/1000）まで読み取り、着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

7. リレー競技

出場するチームは、オーダー用紙を競技開始 80 分前までに招集所に提出する。その後、最終コールは各走者現地で受けること。腰ナンバーカードは第 4 走者のみがつけること。

8. 検 査

用器具の検査は、両日とも 8:30~9:00 に行う。検査の対象は棒高跳のポール、砲丸、円盤、ハンマー、やりとする。

9. 跳躍競技のバーの上げ方について

審判長および跳躍主任の判断により、係員が指示をする。

10. 表 彰

各種目 3 位までに入賞した者（チーム）に賞状を授与する。

11. その他

- ①プログラムの訂正は、両日とも、8:30 までに本部に申し出ること。
- ②服装（ユニホーム等）は、見苦しくないように注意する。
- ③更衣室は清潔に使用すること。貴重品の管理は各団体で行なうこと。
- ④使用したスタンドはきれいにし、ゴミは必ず持ち帰ること。
- ⑤競技中の事故については主催者側で応急手当は行なうが、その後の責任は負いかねる。

競 技 会 に お け る 事 故 防 止 に つ い て

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。